

自治体名	国 立 市				
地域未来塾名称	放課後学習支援教室				
実施場所(個所数)	■学校：小学校全8校				
対象学年	■小学生（5年～6年）				
学習支援員数	53人	■大学生、■教員OB、■地域住民			
対象教科	国語	○	算数・数学	○	英語
	その他	宿題、課題			
ICT活用有無	無		東京ベーシックドリル活用	有	
<p>【実施規模】 ■実施回数：年120回 ■実施曜日 月・火・木・金 ■時間帯 15：30～16：30</p> <p>【運営体制・方法】 市教委の基本方針・運営に基づき、各校との連携のもと実施している。教員免許を保有している地域住民を中心に指導員を配置、教員志望の大学生も参加している。教材は、市教委が用意した教科書準拠のプリントや東京ベーシックドリルをベースに、児童の実態に合わせて指導員が工夫・作成している。</p> <p>【成果・課題等】 成果：年2回の児童、家庭対象のアンケートを実施し、子どもの変化や家庭の意向などを把握しながら、より良き指導に繋げている。29年度末のアンケートでは、「参加して良かった」と回答した児童の割合は、82.0%となった。 課題：①児童の習熟度にあわせて指導の方法と内容 ②指導員の指導技術等の向上</p>					

地域未来塾名称	中学校補習教室				
実施場所(個所数)	■学校：中学校全3校				
対象学年	■中学生（1年～3年）				
学習支援員数	6人	■教員OB、■地域住民、■その他（非常勤講師）			
対象教科	国語	○	数学	○	英語
	その他	参加者の希望に応じて他の教科にも対応			
ICT活用有無	無		東京ベーシックドリル活用	無	
<p>【実施規模】（※学校により、回数、曜日、内容が異なる） ■実施回数：定期考査前等 年10回、夏季休業中 5回 ■実施曜日 学校により異なる ■時間帯（平日）14：30～17：30のうち2時間、（夏季休業）9：00～11：30のうち2時間</p> <p>【運営体制・方法】 各学校とも1回の時間は2時間程度、概ね週1回実施する学校もある。指導員は、教員免許保有の地域住民等。人材確保は学校が行う。学校の宿題、プリント、定期考査対策等、補習教室に地域人材を活用し自主学習を支援する。</p> <p>【成果・課題等】 小学校の放課後学習支援の成果を踏まえ、中学校の生徒の実態に応じた方策として、平成30年度から実施している。成果の把握方法が今後の課題である。</p>					

自治体名	国立市					
地域未来塾名称	中高生のための学習支援事業「LABO☆くにくスタ」					
実施場所(個所数)	■学校外施設 「国立市公民館」 1 個所					
対象学年	■中学生 (1年～3年) / ■高校生 (1年～3年)					
学習支援員数	約20人	■大学生、■地域住民、■その他 (大学院生)				
対象教科	国語	○	数学	○	英語	○
	その他	理科、社会、学習者の必要とする教科に準ずる				
ICT活用有無	有		東京バーネット利用	無		
<p>【実施規模】 ■実施回数：年 36 回 ■実施曜日 水曜日 ■時間帯 18:00～20:00</p> <p>【運営体制・方法】 学習者のニーズ（学校等の補修、日本語学習サポート等）に合わせ、大学生等による支援員が個別に学習をサポート。「居場所」としての機能も大切にしており、各回の学習後には「おやつタイム」や「食事タイム」、学期末には交流事業を開催する等、学習者が参加しやすい工夫を行っている。</p> <p>【成果・課題等】 支援員と職員で毎回の学習後ミーティングを行う等、学習者のニーズや課題を共有し、支援員全体で課題対応の方針や方策を検討している。支援員と学習者の信頼関係を築き、課題を抱える学習者に継続的な参加を促すことで、「学習習慣の確立」「基礎学力の定着」につなげている。また、地域住民の集う公民館という場所柄、外国にルーツのある学習者も増加し支援につなげている。</p>						